

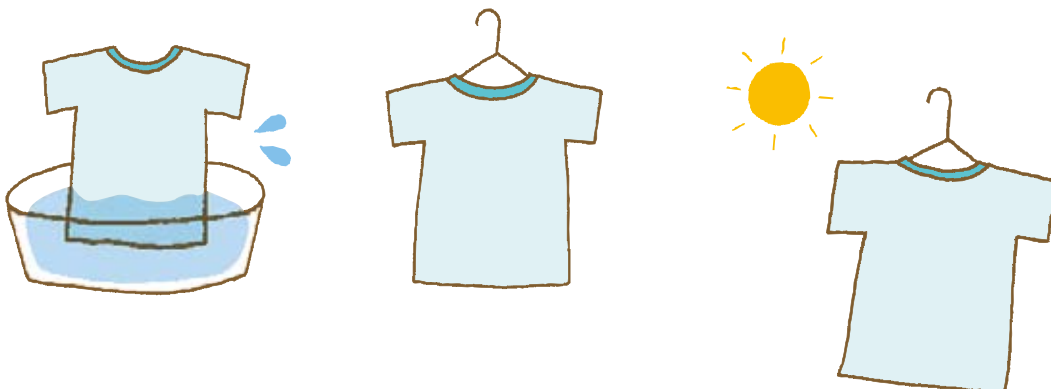
2 手入れと表示

学習の目標

- 衣服素材に適した手入れの必要性を理解する。
- 取扱い絵表示の意味を理解して、適切な手入れ方法を選択できる。

考えてみよう

1. すべての衣服は水洗いができるだろうか。
2. どのような衣服もつるして干したほうがよいだろうか。
3. 日光消毒のためには、どのような衣服も日に干すほうがよいだろうか。



160-1



衣服素材に適した手入れ

衣服素材は織物おりものや編物あみものなどでできており、素材に合わせた手入れが必要です。たとえば、毛糸のセーターは水洗いすると縮ちぢんだりします。また、編物あみものは伸縮しんしゆく性が大きいので（⇒3表）、つるして干すと、洗せん濯物たくものの重さでたてにのびて型くずれすることがあります。また、綿は水洗いでしわになり、ポリエステルは高温のアイロンで縮みます。日光に当てると、色があせる布もあります（⇒5図）。

豆知識

羊毛の繊維の表面は、うろこ状になっています。セーターなどを水に浸（ひた）すと、このうろこ状の表面が水中で立ち上がり、もみ洗いをするとからまって、縮んだり、フェルト状になったりします。

160-2

3表 ▶ 布の種類と特性

織物

糸が直角に交差する。
布は平らでじょうぶ。
型くずれしにくい。



編物

糸がループ状にからみ
合う。布はよく伸びる。
型くずれしやすい。



リンク

[162](#)・[163](#) ページ
「いろいろな繊維」

160-3

5 図 ▶ 洗濯などの手入れで失敗した例

- ① アイロンの熱で縮んだ
ポリエステル製のズボン



- ② 日光で
退色した
綿の布

元の色

日光であせた色



- ③ つり干しで型くずれ
したセーター

黒い線が、干す前の
セーターの形



- ④ 洗濯で縮んだ毛糸のセーター



左：クリーニングに
出したもの

右：弱アルカリ性の
洗剤で洗濯機洗いを
したもの

160-4

取扱い絵表示

既^き製^{せい}服^{ふく}には、衣服の種類や素材に応じた手入れができるように、取扱い絵表示（⇒4表）がつけられています。水洗いが適さない衣服はドライクリーニングをします。取扱い絵表示の意味を理解して、適切な手入れ方法を選ぶことが大切です。



綿とポリエステル^{ポリエステル}の混用のシャツには、どれくらいの温度のアイロンをかければよいだろうか。

豆知識

ドライクリーニングは、有機溶剤を用いておもに油性汚れを落とす洗い方です。クリーニング店では、ほかに、水洗いや特殊（とくしゅ）洗いも行なっています。

161-1



クリーニング店の利用



クリーニング店では，受付のときに，衣服についている取扱い絵表示や汚れの程度などを，係りの人といっしょに確かめましょう。預ける前や受け取ったあとは，次の点に注意します。

預ける前

- ① ポケットの中を確認。
- ② ボタンやほつれの補修。
- ③ こわれやすい付属品をはずす。

預けるとき

- ① しみや汚れを伝える。
- ② 洗い方や加工の要望。
- ③ 預かり証を確認。

受け取ったら

- ① 自分のものかを確認。
- ② 汚れの落ちぐあい，型くずれ，ボタンの有無，布の変質や変色を確認。
- ③ 衣服をポリ袋^{ぶくろ}から出し，風通しのよい場所で1日つるし，湿^{しっ}気^けや溶剤^{ようざい}をぬく。

ワイシャツなどのクリーニング以外にも，皮ジャンパーやぬいぐるみ，しみぬきも引き受けますよ。



※写真はクリーニング店での職場体験実習の一コマ

161-2

4表 ▶ 取扱い絵表示の例

洗い方（水洗い）	記号	記号の意味	塩素系漂白剤の可否	記号	記号の意味
		40℃以下の液温で、洗濯機で洗える。			塩素系 ^{ひょうはく} 漂白剤による漂白ができる。
		40℃以下の液温で、洗濯機の弱水流または弱い手洗いがよい。			塩素系漂白剤による漂白はできない。
		30℃以下の液温で、中性洗剤で洗濯機の弱水流または弱い手洗いがよい。			ドライクリーニングができる。
		30℃以下の液温で、弱い手洗いがよい。			ドライクリーニングができる。溶剤は、石油系のものを使用する。
	水洗いはできない。		ドライクリーニングはできない。		

161-3

		記号	記号の意味			記号	記号の意味
		アイロンのかけ方				180～210℃ 綿、麻。	しぼり方
	140～160℃ 毛、絹など。			しぼってはいけない。			
	80～120℃ アクリルなど。			つり干しがよい。			
	毛など、てかりやすい素材には、あて布をする。		干し方		平干しがよい。		
	アイロンかけはできない。				日かげのつり干しがよい。		

161-4